

まとめ

食べ物の安全性について、
もっと知り、もっと考え、
もっと話し合いましょう



食べ物の安全性とは何か、食べ物の安全性を守るために、食品安全委員会が行っていることやそのしくみ、わかつてもらえたかな？ 食べ物をできるだけ安全に作ったり、食べたりする努力はみんなでしなければならないし、みんなもできるんだ。



だから、みんなも、食べ物の安全性についていろいろな意見を聞き、調べ、自分で考えたり、家族や友だちと話し合ったりしてほしいんです。そして、自分で安全な食べ物を選べるようになること。これが、みんなが健康に生きていくためにとても大切なことですから。



食べ物の安全性についてわからないこと、知りたいこと、心配なことがあつたら、食品安全委員会に電話やメールで聞くこともできるんだよ。ホームページには子ども向けのコーナー『キッズボックス』もあるから、家族の人といっしょに見てみよう！

これが食品安全委員会の構成です

食品安全委員会

委員7名。この委員が中心となつて、食べ物のリスク評価の決定やリスクコミュニケーション、緊急時対応などの仕事を行います。

食品安全委員会事務局

食品安全委員会や専門調査会の活動をささえます。約100人の人が働いています。

専門調査会

専門分野ごとに全部で14があり、専門委員は、のべ240名です。食べ物中のハザードやリスクについて詳しく調べたり、リスク評価の案をまとめています。リスクコミュニケーションや緊急時対応のための専門調査会もあります。

企画

リスクコミュニケーション

緊急時対応

化学物質などをリスク評価するグループ

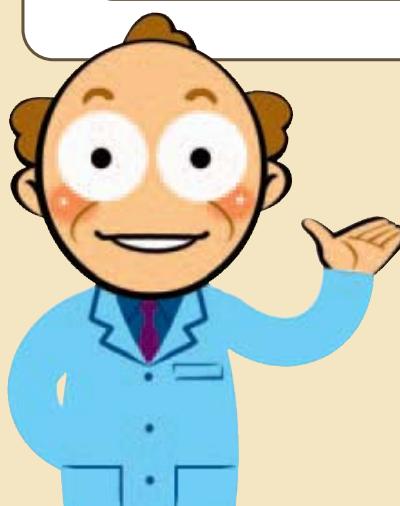
食品添加物、農薬、化学物質など

生物などをリスク評価するグループ

微生物、ウイルス、かび毒・自然毒など

新しい食べ物などをリスク評価するグループ

遺伝子組換え食品、新開発食品、肥料・飼料など



食品安全委員会には、国会で認められた7人の委員がいます。委員はみんな、食べ物に関する分野の専門家です。そして、専門の分野ごとにいろいろなことを詳しく調べるのが専門調査会。ここでは、200人以上の科学者などが委員会に協力しています。さらに、委員会や専門調査会の活動をささえるための事務局があります。

知りたいこと、聞きたいことは
食品安全委員会の“食の安全ダイヤル”へ！

03-6234-1177

（受付は月曜～金曜の午前10時～午後5時。祝日と年末年始はお休みです）

●食品安全委員会ホームページ <http://www.fsc.go.jp/>

（このホームページから、電子メールを送ることもできます）